

(別添様式1)

令和2年度 建設産業魅力発信（担い手確保・育成）取組実績

機関・団体等の名称	やまぐち建設21の会
-----------	------------

事業等の名称	出前授業「建設ゼミナール」
主な対象者	小学生、中学生（保護者含む）
主な取組区分	講演、講座、説明会
<p>1. 実施時期</p> <p>2. 実施場所</p> <p>3. 対象者（参加見込又は参加者数）</p> <p>2020年7月6日 山口農業高校 環境科学科 35名（男子33名、女子2名）</p> <p>2020年7月15日 山口市立串小学校 4名(男子2名 女子2名)</p> <p>2020年9月24日 岩国市立美和中学校 18名(男子11名 女子7名)</p> <p>2020年10月30日 宇部市立黒石中学校 128名(男子68名 女子60名)</p> <p>2021年2月8日(予定) 下関市立山の田中学校 145名(男子-名 女子-名)</p> <p>4. 共催・単独等の開催状況</p> <p>主催者：山口県土木建築部監理課</p> <p>5. 事業等の内容</p> <p>講演依頼のあった山口県内の小中高等学校に会員企業から講師を派遣し、各校の要望に応じて建設業にまつわる「体験型」授業*を実施した。</p> <p>*ダム作成ゲーム、石こう手形の作成、ドローン飛行・・・等</p> <p>6. 期待される効果（実施結果：効果）</p> <p>授業開始前後で建設業に興味を持つ学生が増え、「自分が残ったモノが残ることにやりがいを感じた。進路選択の参考にしたい。」とのアンケート結果も得られた。</p> <p>7. 運営上の課題と課題解決に向けての検討・提案</p> <p>今年度は新型コロナウイルスの影響もあり、高校生への授業が少なく講演時間も短いものが多かった。より低年齢層向けに、業界に興味を持って貰いやすいコンテンツの作成が必要である。</p> <p>8. 従前の取組と比較して変更や追加、工夫した内容</p> <p>小中学校向けの授業が多かったため、一方的に話すばかりではなく土木の魅力を体験できる内容になるように努めた。</p> <p>9. その他</p>	

注1：提出資料は電子データとしてください。

注2：パンフレット等製本資料がある場合は、必要部数を参加者集計の後お知らせしますので、各機関で部数を揃え、期限までに事務局へ提出してください。

令和2年度 建設産業魅力発信（担い手確保・育成）取組実績

機関・団体等の名称	やまぐち建設21の会
-----------	------------

事業等の名称	けんせつ親子体験会
主な対象者	小学生、中学生（保護者含む）
主な取組区分	体験学習、職業体験
<p>1. 実施時期 2020年10月18日</p> <p>2. 実施場所 道の駅きららあじす横広場</p> <p>3. 対象者 87名（小中学生：40名、幼児：13名、保護者34名）</p> <p>4. 共催・単独等の開催方法 主催／山口県 共催／山口県建設業協会 後援／山口県教育委員会、山口県地域を支える建設産業担い手確保・育成協議会</p> <p>5. 事業等の内容 建設機械を使った 魚つりや綱引き体験 トイドローン操縦体験 手形作成体験</p> <p>6. 期待される効果（実施結果：効果） 参加者からは「建設業は重労働のイメージがあるがハイテク化が進んでいることが分かった」などのお声を頂いた。 新聞(山口新聞・中建日報)にも採り上げられ、業界のイメージアップにも繋がった。</p> <p>7. 運営上の課題と課題解決に向けての検討・提案 今回は体験を重視したが、実際の現場で行われている取り組みなどをパネルで紹介などすれば、建設業のイマがより伝わった。</p> <p>8. 従前の取組と比較して変更や追加、工夫した内容 今回初めての取組となります。</p> <p>9. その他</p>	

注1：提出資料は電子データとしてください。

注2：パンフレット等製本資料がある場合は、必要部数を参加者集計の後お知らせしますので、各機関で部数を揃え、期限までに事務局へ提出してください。